

Newsletter

Headline

- ◆ ごあいさつ ～ ニュースレター刊行に当たって ～
- ◆ 2024年度医学生臨床実習前共用試験（CBT・OSCE）及び 臨床実習後OSCEの報告
- ◆ 医学系・歯学系 全国規模の説明会・講習会の報告（2025年1月～5月）
- ◆ 医学系・歯学系 講習会開催計画
- ◆ 職員研修会の報告
- ◆ 理事会報告（令和7年2月28日開催）及び 総会報告（令和7年3月24日開催）
- ◆ 賛助会員制度のご案内

◆ごあいさつ ～ ニュースレター刊行に当たって ～

公益社団法人 医療系大学間共用試験実施評価機構
共用試験広報・国際連携推進委員会 委員長 魚島 勝美



皆様には平素当機構の活動に格別のご理解とご協力をたまわり厚くお礼申し上げます。このニュースレターは、会員を始めとするステークホルダーの皆様へ機構の活動と業務改善状況をお知らせするとともに、機構の活動により関心を持っていただくことを目的として、令和6年11月に第1号が刊行されました。

既にご案内の通り、臨床実習前の共用試験は医科歯科共に公的化され、これに合格した学生は、一定の条件下で合法的に臨床実習の現場での医療行為が行えることになっております。しかしながら、生涯に亘って研鑽が必要な医療提供者の質を高めるためには、そのスタート地点に相当する臨床実習前後および研修における質保証が非常に重要であり、いわゆるシームレスな学修を推進するためには、共用試験はまだまだ未完成であると言わざるを得ません。これまでに機構では多くの先生方の各種委員としての献身的な努力および現場の先生方の多大なるご理解とご協力の下に、多くの事業を推進して参りました。しかしながら、機構と現場の意思疎通という点では未だ不十分な点があることは否めません。今後は広報・国際連携推進委員会としてこのニュースレターを活用し、広く皆様のご理解を得るために活動して参る所存です。

上述の如く共用試験は国家資格取得時の医師・歯科医師の色々な意味での質向上に資する一連の試験制度として更なる前進が求められます。しかしながら、制度としての共用試験の公平性、公正性、透明性等を高めることは大事ですが、試験実施に係る教育現場の負担があまりに大きくなることは、却って教育の質を落とすことになりかねず、本末転倒となる危険性を孕んでいます。この意味でも、今後も多くの方からご意見を頂戴することは非常に重要です。もしお気づきの点がございましたら、各委員会等のメンバーを通して是非機構にお知らせ下さい。本委員会でも、このニュースレターを通じて都度改善状況をお知らせして参ります。

一方、委員会名にあります国際連携推進につきましては、未だその緒についたばかりです。これまでは本邦における共用試験に関して積極的な海外への発信ができておりませんでした。諸外国にはそれぞれ独自の試験制度があり、中には参考になるものも多いはずです。今後は諸外国との情報交換や協力関係構築によって、より良い試験制度に向けてそれぞれが前進できるような活動をしたいと思っております。このことが実現すれば、本邦の大学を卒業して資格を得た医師・歯科医師の質の高さが世界的にも認められ、国際的に活躍する人材の育成にも繋がるはずです。皆様にはこれまでのご理解とご協力に衷心より御礼申し上げますと共に、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

◆2024 年度医学生臨床実習前共用試験（CBT・OSCE）及び 臨床実習後 OSCE の報告

I .臨床実習前共用試験（CBT・OSCE）

1． CBT について

- 1） 2024 年度は,全国 82 医学部・医科大学の 9489 名の医学生が受験しました。そのうち,到達基準に達せず再試験になった者は 720 名,最終的未到達者は 239 名（2.5%）でした。
- 2） 2024 年度から,個人成績表のレーダーチャートを改訂し,分野ごとの相対的な成績を示しました。
- 3） 令和 4 年度改訂のモデル・コア・カリキュラムと前版の平成 28 年度改訂モデル・コア・カリキュラムを比較検討し,「CBT 出題基準」を作成する作業を進めています。
- 4） 毎年恒例の作業として,全国の大学を対象とした問題作成講習会を 2 回実施しました。作成・提出された問題のブラッシュアップ作業は,例年通り実施し,また,問題の難易度や識別力のデータを解析して,良問をプール化する作業も継続して実施しました。

2 .OSCE について

- 1） 2024 年度は,全国 82 医学部・医科大学の 9450 名の医学生が受験しました。そのうち,到達基準に達せず再試験になった者は 875 名,最終的未到達者は 68 名（0.7%）でした。
- 2） 2024 年度の臨床実習前 OSCE はすべての試験室が 2 人評価者で実施しました。2025 年度からは 1 試験室当たり内部評価者 1 名での実施を可としますが, 1 名評価の場合,評価者の負担増を考慮し,内部評価者 2 名で担当することも可としてあります。加えて,評価者に不測の事態が生じた場合に備え,あらかじめ予備評価者を定め待機することを義務付けました。
- 3） 2025 年度から,評価者 1 名の場合,単一領域で到達度判定を行う,医療面接,基本的臨床手技,救急の 3 領域で到達基準不到達の場合,別の認定評価者が動画により追加評価を行っていただくこととしました。
- 4） 2025 年度から,外部評価者は,課題（列ごとではなく）ごとに 1 名を配置することとしました。
- 5） 2024 年度は,OSCE の機構主催追再試験は,下記の会場をお借りして実施いたしました。会場借用のお礼とともに実施状況を示します。

実施時期	借用大学	参加大学数	参加者数
9 月	藤田医大	4 大学	9 2 名
1 0 月	慈恵医大	1 1 大学	8 5 名
1 1 月	兵庫医大	1 1 大学	9 6 名
1 2 月	滋賀医大	1 2 大学	6 0 名
1 月	慈恵医大	2 大学	2 2 名
2 月	滋賀医大	2 大学	1 6 名

6) OSCE（臨床実習前）の評価者候補者のための認定講習会が実施され、機構により、新制度で認定された評価者の総数は 13742 名になりました。

領域ごとの認定評価者数は下記のとおりです。

領域	認定評価者数
医療面接	2197 名
頭頸部	1302 名
胸部	1417 名
全身状態・バイタルサイン	2316 名
腹部	1574 名
神経	1374 名
四肢と脊柱	762 名
基本的臨床手技	1497 名
感染対策	914 名
救急処置	1352 名

7) 模擬患者養成のための講習会、認定試験を実施し、機構が認定した OSCE 用模擬患者は全国で 1100 名を超えました。

3. 合否状況

共用試験は CBT と OSCE とともに到達して、合格となります。合格の状況を示します。対象は両方未受験の受験生を除外した 9509 名で、不合格は 291 名（3.1%）でした。

4. 受験者のための合理的配慮支援、評価についての異議申し立て、試験の不正や実施要項からの逸脱事案について

1) 受験者のための合理的配慮支援について

事前に大学からの配慮支援申請を受けて機構で対応した事例は 115 件ありました。

主な例を下記に示しました。

多汗症（タオルやパウダーの持ち込み許可）

アレルギー性鼻炎・アレルギー性結膜炎（点鼻薬や点眼薬の持ち込み許可）

糖尿病（血糖測定器やグルコースタブレットの持ち込み許可）

聴覚障害（補聴器の装着許可）

外傷（松葉杖の持ち込み許可）

精神疾患（向精神薬や飲料水の持ち込み許可）

その他、補助者の入室許可や座席位置や別室準備等

2) 評価についての異議申し立てについて

2025 年 1 月までに、大学を経由した異議申し立てが本試験で 118 件、再試験で 13 件の異議申し立てがありました。とくに OSCE の領域別では基本的臨床手技、医療面接、救急の 3 領域の評価結果に対するものが多くみられました。

3) 不正や実施要項からの逸脱について

CBT 受験者のスマートフォンの持ち込みが数例ありました。その他、機材の不具合やアナウンスのトラブル、OSCE では評価者や模擬患者のスマートフォンの持ち込み等がありました。

Ⅱ.臨床実習後 OSCE について

公的試験ではないため、機構提供の 3 課題（基本構成は、医療面接による情報収集＋診断仮説に基づいた身体診察＋臨床推論に基づく指導医への症例プレゼンテーション）と、大学独自で作成した課題 3 課題の計 6 課題を基本とし、合否判定は各大学の判断に委ねました。

2024 年度は 81 大学、9458 名の医学生が受験しました。

臨床実習後 OSCE の認定評価者には、卒前から卒後へかけてのシームレスな医師養成の観点から大学教員のみならず研修病院の研修指導医にも評価者になっていただくよう推奨し、評価者の総数は 4208 名になりました。

◆ 医学系・歯学系 全国規模の説明会・講習会の報告（2025年1月～5月）

医学系

・1 月 19 日（日）

医学生共用試験臨床実習前 OSCE 追再試験を、東京慈恵会医科大学校舎を拝借して実施しました。受験者は 2 大学から 22 名でした。

・2 月 16 日（日）

医学生共用試験臨床実習前 OSCE 追再試験を、滋賀医科大学校舎を拝借して実施しました。受験者は 2 大学から 16 名でした。

・2 月 17 日（月）

医学生共用試験 CBT 問題作成説明会（2 回開催のうちの 1 回目）を、Web で開催したところ、全国から 330 名が参加されました。

・2 月 21 日（金）

医学生共用試験 OSCE 全国説明会を、Web で開催したところ、全国から 470 名が参加されました。

・2 月 23 日（日）

医学生共用試験臨床実習後 OSCE 認定評価者講習会を、国立国際医療研究センターの大会議室を拝借して開催したところ、90 名が参加されました。

・2 月 26 日（水）

医学生共用試験 CBT 問題作成説明会（2 回開催のうちの 2 回目）を、Web で開催したところ、全国から 165 名が参加されました。

・3 月 7 日（金）

医学生共用試験用模擬患者団体向けの全国説明会を開催したところ、60 大学と 11 模擬患者団体から、計 272 名が参加されました。

・3 月 11 日（火）

医・歯全大学を対象とした OSCE 評価入力システム説明会（Web）を開催しました。
午前と午後、共通のプログラムで、午前 120 大学、午後は 80 大学程が参加しました。

・3月14日（金）

医学生共用試験用模擬患者新規養成講習会を実施しました。

・3月23日（日）

医学生共用試験臨床実習後 OSCE 評価者養成講習会（大阪）を実施しました。80 数名が受講しました。

・3月29日（土）

標準模擬患者養成講習会を、日本医大を拝借して実施しました。全国 21 大学及び大学外模擬患者団体から模擬患者認定試験受験者 113 名と新規模擬患者予定者 18 名の計 131 名が参加しました。なお日本医大の事務職員の方 4 名に応援をいただきました。

・4月27日（日）

医学生共用試験臨床実習後 OSCE 評価者認定講習会を、キーステーションを当機構会議室に置き、オンラインで実施しました。全国から 117 名の先生方が参加しました。

・5月17（土）,18（日）,24日（土）

医学生共用試験臨床実習前 OSCE 評価者認定講習会を、横浜市立大学金沢八景キャンパスを拝借し、全国から計 923 名が参加して領域別講習会を実施しました。同大は羽田空港からのアクセスもよく参加者に好評でした。

・5月25日（日）

医学生共用試験臨床実習後 OSCE 評価者認定講習会を、慈恵医科大学を拝借し、大学及び臨床研修病院から 52 名が参加してプレナリーセッションとグループディスカッションからなる講習会を実施しました。

歯学系

・4月24日（土）

歯学生共用試験 CBT 実施責任者認定講習会を機構 6 階会議室で開催しました。27 名が受講しました。

・5月17日（土）

歯学生共用試験 OSCE 模擬患者標準化大学担当者認定講習会を機構 6 階会議室で開催しました。25 名が受講しました。

・5月18日（日）

歯学生共用試験 OSCE 模擬患者標準化担当者認定講習会を web で開催しました。全国から 12 名が受講しました。

・5月21日（水）

歯学生共用試験 CBT 機構派遣監督者認定講習会を機構 6 階会議室で開催しました。30 名が受講しました。

・5月29日(木)

歯学生共用試験 PX CSX 実行責任者・機構派遣監督者認定講習会を機構 6 階会議室で開催しました。28 名が受講しました。

・5月30日(金)

歯学生共用試験 PX CPX 実行責任者・機構派遣監督者認定講習会を機構 6 階会議室で開催しました。28 名が受講しました。

◆ 医学系・歯学系 講習会開催計画

系	講習会名	日程	場所
医学系	CBT統括実施責任者等認定講習会	6 月 2 日(月)	オンライン
		7 月 8 日(火)	オンライン
	CBT機構派遣監督者認定講習会	7 月 22 日(火)	CATO 内会議室
		7 月 24 日(木)	CATO 内会議室
		8 月 8 日(金)	大阪医科薬科大学
	臨床実習前 OSCE 評価者認定講習会 (機構主催)	5 月 17 日(土)	横浜市立大学 金沢八景キャンパス
		5 月 18 日(日)	
		5 月 24 日(土)	
		10 月 25 日(土)	兵庫医科大学 西宮キャンパス
		10 月 26 日(日)	
		11 月 1 日(土)	
	臨床実習後 OSCE 評価者認定講習会	4 月 27 日(日)	オンライン
		5 月 25 日(日)	東京慈恵会医科大学
		6 月 22 日(日)	東京慈恵会医科大学
		7 月 20 日(日)	JA あいち
		9 月 28 日(日)	郡山商工会議所
		11 月 16 日(日)	新大阪丸ビル別館
		12 月 21 日(日)	広島市文化交流会館
		1 月 25 日(日)	福岡赤十字病院
		2 月 15 日(日)	未定(千葉県または東京都)
		3 月 22 日(日)	オンライン
	OSCE 機構派遣監督者認定講習会	8 月 6 日(水)	オンライン
	模擬患者機構養成・新規講習会	7 月 4 日(金)	オンライン
		3 月 13 日(金)	オンライン
	模擬患者機構養成・認定試験 団体養成・既存標準模擬患者 認定試験	8 月 2 日(土)	大阪公立大学
		3 月 28 日(土)	日本医科大学
	標準模擬患者養成担当者講習会	6 月 26 日(木)	オンライン
		11 月 13 日(木)	オンライン
歯学系	CBT 実施責任者認定講習会	4 月 24 日(木)	CATO 内会議室
		5 月 26 日(月)～6 月 6 日(金)	e-learning
		10 月 14 日(火)～10 月 24 日(金)	e-learning
	CBT 機構派遣監督者認定講習会	5 月 21 日(水)	CATO 内会議室
		10 月 27 日(月)～11 月 7 日(金)	e-learning
	臨床実習前 OSCE 模擬患者 標準化大学担当者認定講習会	5 月 17 日(土)	CATO 内会議室
	臨床実習前 OSCE 模擬患者 標準化担当者認定講習会	5 月 18 日(日)	CATO 内会議室
	臨床実習前 OSCE 標準模擬患者 認定講習会	6 月 5 日(木)	東京科学大学
		6 月 15 日(日)	九州大学
		7 月 29 日(火)	東京歯科大学
	臨床実習前 OSCE 評価者認定講習会	9 月 13 日(土)	奥羽大学
		10 月 4 日(土)	北海道大学
		11 月 2 日(日)	大阪歯科大学
	PX CSX 実行責任者・機構派遣監督者 認定講習会	5 月 29 日(木)	CATO 内会議室
	PX CPX 実行責任者・機構派遣監督者 認定講習会	5 月 30 日(金)	CATO 内会議室
	PX CSX 評価者認定講習会	6 月 17 日(火)	CATO 内会議室
		11 月 20 日(木)	CATO 内会議室
	PX CPX 評価者認定講習会	6 月 18 日(水)	CATO 内会議室
		11 月 21 日(金)	CATO 内会議室

◆ 職員研修会の報告

・1月8日（水）

職員研修会が行われ、栗原理事長による「年頭訓話」に続き、齋藤副理事長から「医学生共用試験について」と、葛西事業部長から「歯学生共用試験について」講演がありました。その他、江藤副理事長から職員の意識改革等について、新規に制定された人事評価規定等の説明がありました。

◆ 理事会報告（令和 7 年 2 月 28 日開催）及び 総会報告（令和 7 年 3 月 24 日開催）

令和7年2月28日に第33回定例理事会を開催しました。また、令和7年3月24日に第13回臨時総会を開催しました。理事会及び総会の両方において審議・決定した事項についてご報告いたします。

➤ **第 1 号議案 令和 6 年度補正予算（案）について**

令和 6 年度補正予算を決定しました。令和 6 年度厚労省医療施設運営費等補助金（約 5 億 1 千万円）が交付されたことから、これに係る収益と費用を補正予算として計上しました。

➤ **第 2 号議案 令和 7 年度事業計画（案）について**

令和 7 年度における機構の事業計画を決定しました。研修事業に係る事業計画については、会員大学で開催される認定講習会等を支援するとともに、必要・要請に応じて機構主催の認定講習会等を開催する計画としました。

➤ **第 3 号議案 令和 7 年度収支予算（案）について**

令和 7 年度における機構の収支予算を決定しました。令和 7 年度の予算のポイントは以下のとおりです。

- ① 会費については、令和 6 年度と同額（追加分を含む）としたこと
 - ② 令和 6 年 1 0 月の医学生共用試験部会の意見を踏まえ、医学系OSCEの外部評価者の派遣数を課題毎に 1 名（これまでは 2 名）とし、これに要する旅費や謝金を減額したこと
-

◆ 賛助会員制度のご案内

機構は、共用試験の実施とその質を更に高める活動を通じて、優れた医師・歯科医師を養成することにより、国民の健康と福祉の向上に貢献しています。この機構の活動に社会一般の皆様から深いご理解とご支援をいただくため、賛助会員制度を設け募集を行うこととしました。

➤ 入会のお手続き

機構ホームページの入会申込書（令和7年1月以降掲載予定）をダウンロードし、必要事項をご記入の上、下記のお問い合わせ先までメール又はFAXによりお送りください。

➤ 年会費

- 個人： 1口 10,000円（年額）
 - 団体： 1口 100,000円（年額）
- 入会決定後に請求書をお送りいたします。

➤ 特典等

機構のホームページにお名前を掲載し、優れた医師・歯科医師の養成にお力添えいただいていることを公表させていただきます。また、賛助会費は寄附金として税制上の優遇措置が適用されます。

➤ お問い合わせ先

公益社団法人 医療系大学間共用試験実施評価機構 企画部
〒113-0034 東京都文京区湯島1-9-15茶州ビル7F
TEL:03-3813-4620 FAX:03-3813-4320 E-mail: kikaku@cato.or.jp

公益社団法人 医療系大学間共用試験実施評価機構
〒113-0034 東京都文京区湯島 1-9-15 茶州ビル 7F
TEL : 03-3813-4620
FAX : 03-3813-4320
E-mail : kikaku@cato.or.jp
URL : <https://www.cato.or.jp/>

【編集】
CATO 事務局企画部

【発行】
令和7年6月